

# プログラム近況報告

2014年度(2013年10月1日～2014年9月30日)

World Vision

この子を救う。未来を救う。

Bangladesh 人民共和国

フルバリア地域開発プログラム(BGD-185387)

チャイルドストーリー

## 「学校の先生になる」夢を取り戻したシムラちゃん

フルバリア地域開発プログラム(以下、ADP)の支援地域で暮らすシムラちゃんは、日雇い労働者の父親と母親、妹とともに暮らしています。小さい頃から先生になるのが夢でしたが、子どもの教育や健康にあまり関心を持たない貧しい両親の下で、夢を失いかけていたと言います。しかし、2008年にワールド・ビジョン(以下、WV)のチャイルドとして登録され、定期的にスタッフの訪問を受けるうちに、両親は教育や健康の重要性に気づいていきました。シムラちゃんも、集会に参加して子どもの権利について学び、通学かばんや文房具の提供も受け、勉強にも以前より集中して取り組んでいます。

また、両親は収入向上のために乳牛と子牛の提供を受けました。シムラちゃんと妹は毎日牛乳を飲むことができるようになり、余った牛乳を売ることによって、両親は以前より多くの収入を得ることができるようになりました。「ご支援によって私たち家族は本当に助けられました。心から感謝しています」と、父親は幸せそうに話してくれました。



ADPの支援で提供された牛の世話をしています



妹と一緒に学校に行くシムラちゃん(11歳、左)

## 子どもの生活環境改善プロジェクト

### 保健：5歳以下の子どもと、母親たちの栄養改善に取り組んでいます



933人が栄養改善プログラムに参加

5歳以下の子どものうち低体重児の割合は、ADP開始当初の48.7%から40.5%（2014年）に減少していますが、依然として高い割合です。2014年度は、特に栄養状態の悪い2歳以下の子どもたち933人が栄養改善プログラムに参加し、うち336人の体重が増加しました。

また2014年度、特に力を入れたのがアドボカシー（政策提言活動）です。バングラデシュの農村部で一番身近な医療施

設は地域診療所ですが、資金や人材が不足し、十分な医療サービスが提供されていません。ADPでは地域住民グループや保健ボランティアなどと協力し、地域の行政機関に対して、地域診療所が適切に運営されるよう働きかけました。その結果、支援地域にある17の地域診療所のうち、12カ所が政府の定めた方針を守り、週3日医療サービスを提供するようになるなど、改善が見られています。



学校で手洗いの方法を学ぶ子どもたち



蚊が媒介する病気から子どもたちを守るため、蚊帳を支給しました

### 教育：子どもたちの教育の環境の改善と、質の向上を目指しています



中学卒業に必要な成績取得者の割合が92.9%に増加

地域住民と協力して18の就学前教育センターを運営し、360人の子どもたち（3～5歳）が学んでいます。また教育の質を向上するため、117人の教師にトレーニングを行ったほか、15校に学習机を支給しました。さらに小・中学校18校では、PTAや地域住民から成る委員会が設置されています。委員会のメンバーは、地域の大人に教育の重要性についての啓発を行ったり、学習が遅れている子どもたちが補習授業を受けられるよう行政機関に働きかけるなど、活発に活動しています。これまでの活動の結果、小・中学校の退学率が減少し、中学校卒業に必要な成績取得者の割合が92.9%に増加しました。



就学前教育センターで学ぶ子どもたち

## 収入向上：特に貧しい世帯や、女性を中心に支援しています

### \$ 特に貧しい **149**世帯の経済活動を支援

農産物の収穫の少ない時期に、特に貧しい149世帯に現金の提供と引き換えに労働機会を提供するキャッシュ・フォー・ワーク・プログラムを支援。対象世帯は6つのグループを作り、日雇い労働で得た収入の一部をグループとして貯蓄しており、合計の貯蓄額は約12,000ドルになりました(2014年)。今後はグループの強化を行い、貯蓄を元手に個人またはグループで小規模ビジネスを始めることを目指しています。また、農作物の生産性を向上するため、150人に野菜栽培や養鶏などのトレーニングを行い、42人の女性に農業以外でも収入を得られるよう、縫製のトレーニングを行いました。



トレーニングと鶏の提供を受けて養鶏を始めた女性



竹やプラスチック製のひもを使った小物作りを行う女性



#### 支援地域の女性のインタビュー

### 教育の重要性に気づき、ほかの保護者にも伝えています

**Q. 家族構成を教えてください。**

夫と3人の子どもの5人家族です。

**Q. ADPのどのような活動に参加していますか。**

開発グループのメンバーとして、教育や収入向上の重要性について学ぶプログラムに参加しました。その中で子どもたちに質の高い教育を受けさせることの大切さを学びました。

**Q. ADPの活動に参加してどのような変化がありましたか。**

勉強を続ければ、子どもたちは輝く未来を手に入れられるとわかりました。今は自分の子どもたちだけでなく、地域のほかの保護者や子どもたちにも教育の重要性を伝え、学校に通うように励ましています。

**Q. 今の夢を教えてください。**

私は若いときに結婚しました。以前は、私のように早婚

によって勉強を続けられない子どもがたくさんいました。これからは地域で早婚がなくなり、子どもたちが教育を受けて良い将来を手にするを願いますし、そのために自分ができることをしていきたいと思います。



支援地域に住むシルピさん(30歳、右)。開発グループのメンバーとして活動しています

## ADP マネージャー・インタビュー



### Q.ADPでどのような仕事をしていますか。

ADPの責任者として、予算に基づいたプロジェクトの企画運営、行政や関係機関との交渉や連携、プロジェクトの報告と評価、ADPスタッフの育成と管理などを行っています。

### Q.あなたがWVで働き続ける原動力は何ですか。

WVでは、スタッフ全員がひとつの家族として、弱い立場にある子どもたちや地域の人々の生活を良くするという目標のために働いています。そのような組織で働けることが私の喜びです。



フルバリアADPマネージャー ユヌス・シャングマ (51歳)

## スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



子どもの権利についての啓発活動を行う「子どもクラブ」の10代のメンバー

チャイルドとの手紙の交流や毎年の成長報告などを通して、支援の成果を実感していただくための活動を行っています。チャイルドの成長を定期的にモニタリングし、支援事業がチャイルドとその家族、地域の人々の生活をどのように改善しているのか確認を行うほか、チャイルドの家族や地域の人たちが「子どもを中心とした開発」を理解し、支援活動の中心を担っていくような啓発活動も行っています。

2014年度は6つの「子どもクラブ」が活動。メンバーは定期的にミーティングを開き、子どもの権利や早婚の危険性などについて学んでいるほか、チャイルドのモニタリングにも協力しています。

## 会計報告

BGD-185387

収支計算書 自2013年10月1日 至2014年9月30日

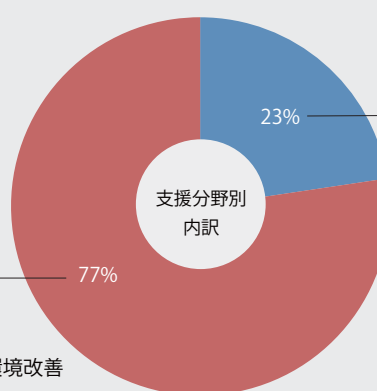
### プログラム支援額(単位:円)

チャイルド・スポンサーシップ	64,967,282
当期支援額	64,967,282
前期繰越金	2,964,561
プログラム支援額合計	67,931,843

### プログラム支出額

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	14,872,389
子どもの生活環境改善プロジェクト (保健、教育、収入向上等)	50,815,771
プログラム支出額合計	65,688,160
次期繰越額	2,243,683

### スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト



子どもの生活環境改善プロジェクト

## お問い合わせ

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
 電話：03-5334-5351 (平日 9:30 ~ 17:00)  
 FAX：03-5334-5359

ワールド・ビジョン

検索

ホームページ：www.worldvision.jp  
 e-mail：dservice@worldvision.or.jp